

都市再生整備計画 事後評価シート

南阿蘇鉄道高森駅周辺地区

令和7年11月

熊本県高森町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	熊本県		市町村名		高森町		地区名		南阿蘇鉄道高森駅周辺地区				面積		56.5 ha					
交付期間	令和3年度～令和4年度		事後評価実施時期		令和7年度		交付対象事業費		344.5		国費率		0.4							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名																	
			高森駅前広場、高森駅前駐車場、情報板設置、地域防災施設、緑化施設等、照明施設等																	
	当初計画から削除した事業		基幹事業		事業名												削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
			提案事業		空き店舗改修事業、建設現場見学会、WS、社会実験等															
	新たに追加した事業		基幹事業		事業名												削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
			提案事業																	
	交付期間の変更		当 初		令和3年度～令和4年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—											
		変 更		—																
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標			従前値		目標値		数 値		目標		1年以内の		効果発現要因(総合所見)				フォローアップ		
				基準年度		目標年度		モニタリング		評価値		達成度		達成見込み		予定時期				
	指標1	高森町への入込観光客数	人/年	793,320	R1	1,000,000	R5	—	767,009 (R5)	△	あり	●	直前までの新型コロナウイルスの影響により、南阿蘇鉄道の全線運転再開を契機としたR5の入込客が目標値より少なかった。一方でインバウンドの入込は増加傾向にあるため、今後国内外からの観光需要増加に伴って、入込客数の増加につながる。							
	指標2	南阿蘇鉄道年間輸送人員数	人/年	36,670	R1	75,000	R5	—	203,895 (R5)	○	あり		R5.7月の南阿蘇鉄道全線運転再開を果たしたことによる増加に加え、県立高森高校のマンガ学科新設による域外からの通学利用者が増加したことにより、目標達成に至った。							
	指標3	駅周辺での住民活動回数	回/年	2	R1	6	R5	—	5 (R5)	△	あり	●	南阿蘇鉄道の全線運転再開・高森駅の全体完成以降、町や観光事業者を主とし、イベントの開催を随時行っている。令和6年度以降は指定管理による施設管理がなされ、定例イベント等の開催も行われている。継続的かつ定着したイベントの実施を行っていくとともに、活用方法等の周知も行っていく。							
											なし									
	指 標			従前値		目標値		数 値		目標		1年以内の		効果発現要因(総合所見)				フォローアップ		
			基準年度		目標年度		モニタリング		評価値		達成度※1		達成見込み		予定時期					
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	コミュニティバス「高森町民バス」年間利用者数	人	9,916	R3			—	13,004 (R6)				交通の結節点としての効果が発現し、コミュニティバス利用者の増加につながった。特に上色見熊野座神社を経由する便の利用増が顕著であり、観光利用の側面での増加が図られた。町民と観光の両側面で利便性の良い公共交通形態を構築していく。							
	その他の数値指標2	高森駅交流施設利用者数	人	—	—			—	15,785 (R7)				カフェの併設やイベントの定期実施、長距離路線バスの停留所設置に伴う利用者の増加が図られた。今後も利用者の増加を図るため継続的にイベント実施などを行い、施設活用につなげる。							
	4)定性的な効果発現状況																			
・交通の結節点としての機能も充実し、コミュニティバスの利用者増加、その他路線バスの利用者増加につながった。 ・町の玄関口としての認知度向上のために、南阿蘇鉄道(株)及び(一社)高森観光推進機構で利用検討を重ねている。 ・地元学生の列車待合時間や放課後の交流の場として駅周辺に学生が多く見られるようになった。 ・駅周辺を利用したイベント開催をしたいといった問合せも増えてきている。																				
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等									
	モニタリング		・高森町ホームページによる情報公開 ・全世帯が視聴する光ケーブルテレビによる住民説明会			都市再生整備計画に記載し、実施できた					●		施設の情報発信やイベントPR等も含め、今後も継続的に実施をしていく。							
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した														
	住民参加プロセス		・町民、地元高校生を対象としたワークショップの実施 ・施設活用に資する町民参画の講演会実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた					●		施設の整備内容や運営方法について地域住民や地元高校生と意見交換をすることで、地域住民のニーズに合致した整備をすることができた。今後も、引き続き、地域住民や利用者の声を聞き、地域課題の解決及び利用の向上を図る。							
都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した																				
持続的なまちづくり体制の構築		・公共交通を担う南阿蘇鉄道と観光推進機構を主に高森駅を起点としたまちづくり活動の展開			都市再生整備計画に記載し、実施できた					●		高森町の玄関口である高森駅を起点とし、来訪者との交流、にぎわい創出を継続的なものとするため、関係団体との連携強化及び支援を実施していく。								
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した															
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった															

様式2-2 地区の概要

南阿蘇鉄道高森駅周辺地区 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：人と二次交通機能の集約と利用者の利便性を向上し、安全・安心で観光客をはじめ利用者の全てが心地よい交流拠点を実現する。		高森町への入込観光客数	人/年	793,320	R1	1,000,000	R5	767,009	R5
小目標①：公共交通の観光利用の利便性を図る交通結節機能の強化によるまちづくりに必要な拠点施設の再構築		南阿蘇鉄道年間輸送人員数	人/年	36,670	R1	75,000	R5	203,895	R5
小目標②：阿蘇くじゅう国立公園の観光資源と公共交通を融合した観光魅力の向上によるまちづくり									
小目標③：地域唯一の鉄道に地域住民の矜持を育み観光客等との交流を創出する住民活動の活性化		駅周辺での住民活動回数	回/年	2	R1	6	R5	5	R5

地域防災施設

高森駅前広場

照明施設等

緑化施設等

情報板

【施設の活用と高森駅周辺を起点とした町内活性化が求められる】

- 高森駅舎及び交流施設の建て替えにより、来訪する方は増加している。
- 来訪者の増加に伴い、滞在ならびに町内を回遊するためのイベント実施や交通手段の確保（ライドシェア・トゥクトゥク）も行うことで駅周辺整備の効果を広く波及することができている。
- 上記の取り組みが一過性のものにならないように、継続かつ魅力的なイベントやまちづくりが今後も求められる。

【持続的な鉄道の維持】

- 高森駅を玄関口としての機能を担保するためには南阿蘇鉄道の経営安定が不可欠であるが、駅周辺再開発と同時期に鉄道事業再構築に伴う上下分離を行い、経営の安定を図った。
- 従来の南阿蘇鉄道（株）が運行を担っており、観光列車（トロコ列車）を軸に経営が好調ではあるが、全線運転再開を機に若干の減少傾向ではあるため、経営を安定させるための取り組みが必要となる。

今後のまちづくりの方策（改善策を含む）

- 高森駅の玄関口としての機能維持のため、民間事業者とも連携して施設の積極的なPRや情報発信に取り組み、来訪者の増加・利用の向上を図る。
- 連続性や回遊性をさらに向上させるため、2次交通の強化と町内の観光施設等の魅力向上に取り組む。
- 公共交通の軸となる南阿蘇鉄道の経営安定に自治体としても支援を行いながら、持続的な鉄道の構築に務める。